

3 《6つの重点プロジェクト》についての取り組み

(1) 地域のあらゆる資源を活かして進める、活性化推進プロジェクト

産業や人材、知恵や情報など、三鷹のまちにある貴重な、あらゆる資源を活用して、さまざまな視点から地域の活性化の推進を図りました。

(株)まちづくり三鷹の活動では、SOHOパイロットオフィス事業、三鷹産業プラザ（第1期棟）、三鷹市三立SOHOセンターなどの拠点を中心に、SOHO支援事業を一体的に推進しました。さらに(株)まちづくり三鷹が、国の補助などを受けて建設を計画している三鷹産業プラザ（第2期棟）について、設計費の助成を行いました。

また、商工振興事業補助金では、市立アニメーション美術館及び東京スタジアムの開設に係る商工振興対策への支援を盛り込むなど拡充を図り、(株)まちづくり三鷹において、市立アニメーション美術館を契機とした(株)ムゼオ・ダルテ・ジブリと協働で行う独自のキャラクターの開発や、「電子商店街M i t a k a - m a l l」導入検証事業への支援を行いました。さらに、新世紀東京国際アニメフェスタ 21 関連イベントとして「三鷹の森アニメフェスタ 2002」を平成14年2月に開催し、産業プラザ特設会場や三鷹芸術文化センターでアニメ映画上映、ミュージカル、展示・販売等を行いました。その結果、市内外から1,500人が来場いたしました。これにあわせて都市基盤整備公団と共同で、三鷹市内へのアニメーション関連産業などに係る企業・団体等の立地・集積に関する調査を実施しました。

(2) ふるさと三鷹の自然と文化をつなぐ、緑と水の回遊ルート整備プロジェクト

市内に残された自然と文化のネットワークを形成することによって、公園都市の実現を目指した「緑と水の回遊ルートの整備」事業の推進を図りました。

「丸池の里」整備事業では、引き続き西側拡張用地の用地取得を行うとともに、市民の意見を活かしながら準備を進めてきた北側拡張用地の整備工事を実施しました。仙川上流部環境整備では、「上連雀広場公園（仮称）」の整備に向け、最終年次の用地取得を行うとともに、中原緑地については、樹林地の面影を残した公園として整備工事を実施しました。



市立アニメーション美術館

芸術・文化のまちづくり、情報発信、教育・生涯学習等の拠点として、(株)ムゼオ・ダルテ・ジブリと協働で準備を進めてきた市立アニメーション美術館は、6月末に竣工、引渡しを受け、平成13年10月に開館しました。開館にあわせて記念式典、記念イベントを実施したほか、プレオープン事業と

して市民を招待しました。また、この美術館の管理運営を委託する(財)徳間記念アニメーション文化財団設立のための出捐を行いました。

アニメーション美術館の開館にあわせ、コミュニティバスの新規路線(明星学園ルート)の運行を開始しました。一日当たりの乗車人数は市の補助対象ルートの中で最も多く、その半数以上が美術館の来館者と推測されます。

(3) 地球環境を保全し持続可能な社会を目指す、循環型社会形成プロジェクト

地球的視野に立った持続可能な循環型社会を目指し、基礎自治体の立場から事業の推進を図りました。

環境保全施策の推進では、環境基本条例に基づく総合的な計画として「環境基本計画」の策定を目指し、公募による市民、住民協議会代表、事業者等からなる検討会の委員により計画案を検討・作成しました。また、この計画には、温室効果ガスの排出抑制など地球温暖化対策実行計画を盛り込み、平成14年3月に「環境基本計画」を策定しました。

「牟礼コミュニティ・センターESCO(省エネ施設改善)事業」では、省エネ型空調設備の改修及び高効率照明システムの導入を行い、公共施設の省エネルギー対策を推進しました。

また、調布市と共同で準備を進めている新ごみ処理施設整備事業では、市民・学識経験者・行政で組織する検討委員会を設置し、「新ごみ処理施設整備基本計画(案)」の策定に向けて検討に着手しました。

(4) いつまでも元気で安心して生活できる地域を目指す、高齢者施策推進プロジェクト

高齢者が、いつまでも元気で安心して生活できる地域社会であることを目指した事業の推進を図りました。

社会福祉の構造改革などの動きを踏まえ、「みたか福祉プラン21(三鷹市地域福祉・健康推進計画)」を改定し、「新福祉総合計画(仮称)」を策定するに当たり、公募による市民を含めた45人からなる検討市民会議を発足させました。

高齢者の介護予防・健康増進を推進するため、福祉会館のバリアフリー化を図り、機能訓練設備の拡充等の施設整備を行うとともに、家族介護支援特別事業としては、家族介護慰労金支給事業、要介護高齢者おむつ支給事業、家族介護者交流事業を実施しました。

また、経験と知識を有して何か活動したいというシニア高齢者と、利用したい市民・団体とのマッチングについて、情報システム等を活用して実現する「高齢者社会活動マッチング推進事業」を実施しました。この事業は平成12年度中途より、市内のNPO法人と協議を進めつつ準備し、平成13年秋に、情報システム「三鷹いきいきプラス」をインターネット上に立ち上げ、事業を開始しました。

(5) 学びと参加のしくみをつくる、「市民総合大学(仮称)」プロジェクト

「いつでも、どこでも、だれでも」学べる生涯学習の推進と、地域における人材育成のネットワーク化を目指し、情報の提供、生涯学習の相談、学習施設の拡充、多様な学習機会の提供などの施策を反映させるため、「生涯学習推進計画」の改定を進めることとし、その準備として、施策の体系、生涯学習意向調査の検討、審議を行いました。

また、市民に密着した図書館サービスの推進を目指し、市立図書館本館の夜間開館を週2日（火・木曜日）から週4日（火・水・木・金曜日）に拡充しました。さらに、高山小学校を含めて小学校4校の学校図書館の整備を行い、将来の地域開放の対応が可能となりました。

（6）健康・長寿社会を実現する、スポーツの拠点づくりプロジェクト

スポーツ拠点の整備やネットワーク化により、健康・長寿社会の実現を目指した事業の推進を図りました。東京スタジアムのオープンを記念したイベントとして「みたかサッカーフェスタ」を開催し、市も出資している(株)FC東京の協力を得ながら、子どもから大人までの市内のサッカー愛好者約500人が参加しました。

また、「三鷹市立学校施設の開放に関する条例」に基づき、小・中学校全校で推進している学校施設開放事業では、本年度、建て替えが終了した高山小学校の体育館等の開放を開始しました。さらに、第五中学校プール整備事業では、第1処理場の余熱を利用した温水プールとして開閉式ドームを設置し、地域開放も視野に入れた整備を行いました。

